日本病理学会人材育成委員会実施 アンケート結果の概略

2008年8月実施

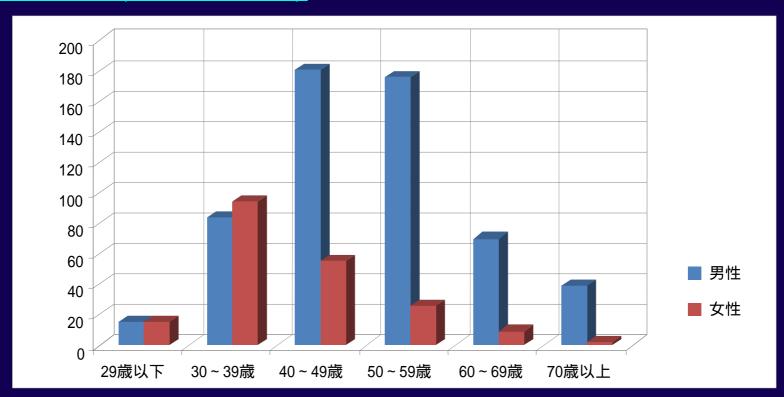
ホームページ 掲載資料

アンケート回答総数:780件

性別: 男性 73%、女性 26%、無回答 1%

病理専門医の割合:81%

Q 2. 性別 (年代別分布)

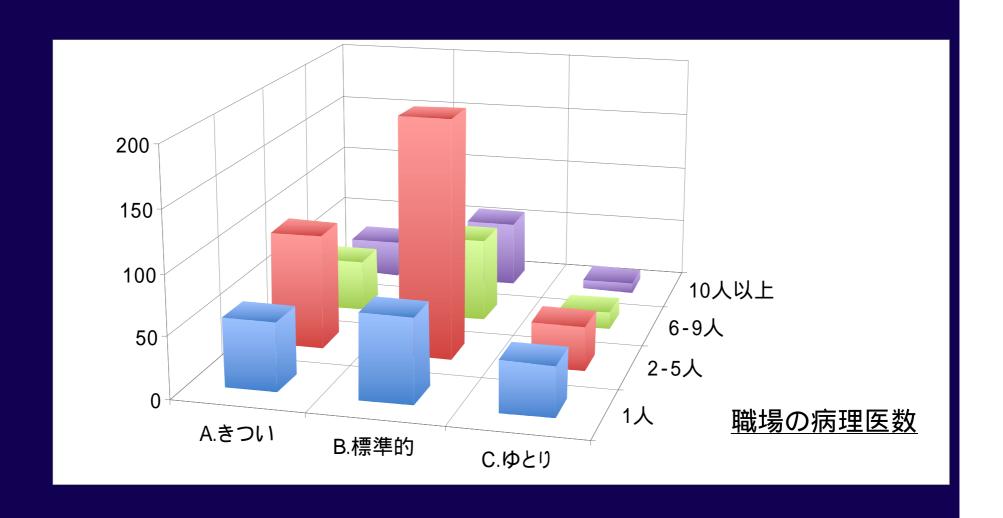


一人病理医

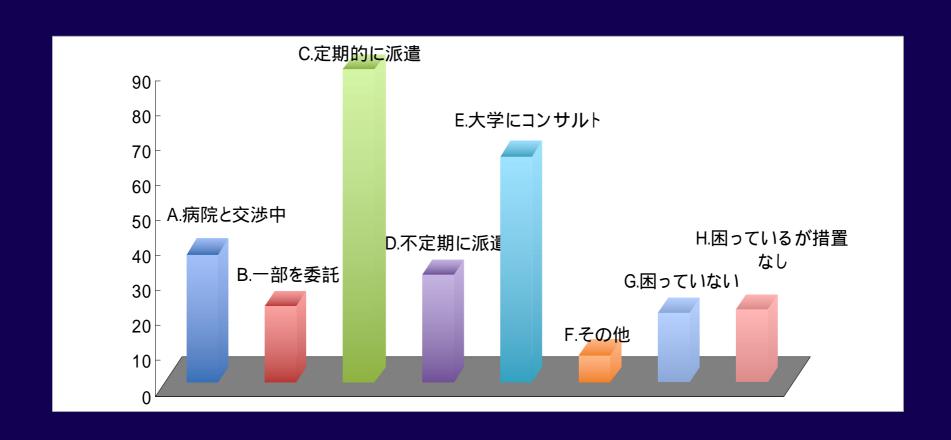
Q 6. 職場の病理医数

	合計	1人	2-5人	6-9人	10人	「1人」%
 A.北海道	38	11	19	8	0	28.9
B.東北	66	22	31	12	1	33.3
C.関東	241	40	89	50	62	16.6
D.中部	112	29	54	21	8	25.9
E.近畿	107	31	54	12	10	29.0
F.中国·四国	73	16	42	12	3	21.9
G.九州·沖縄	102	27	49	14	12	26.5
合計	739	176	338	129	96	23.8

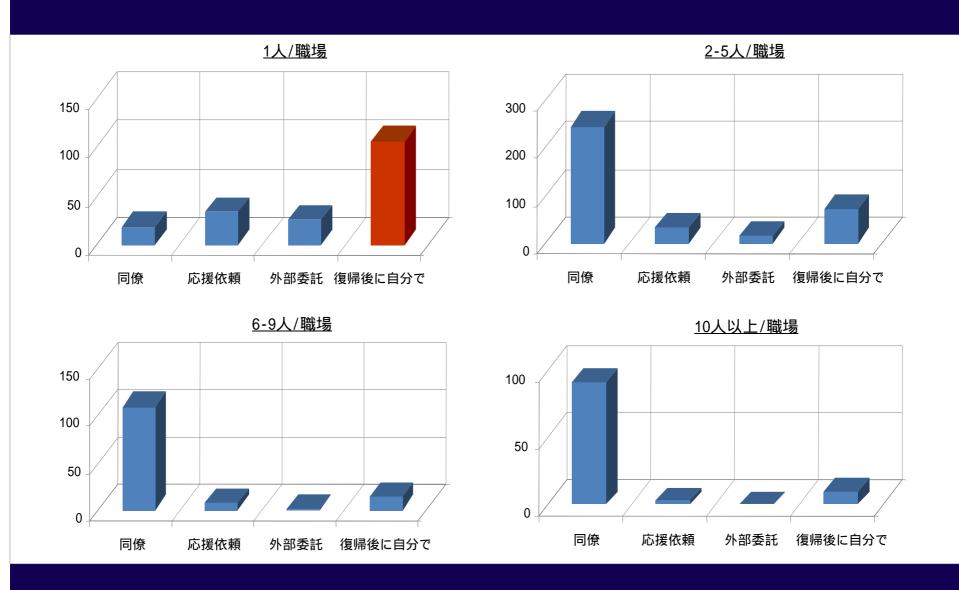
Q 11. 病理業務の負担に関する一般的感想



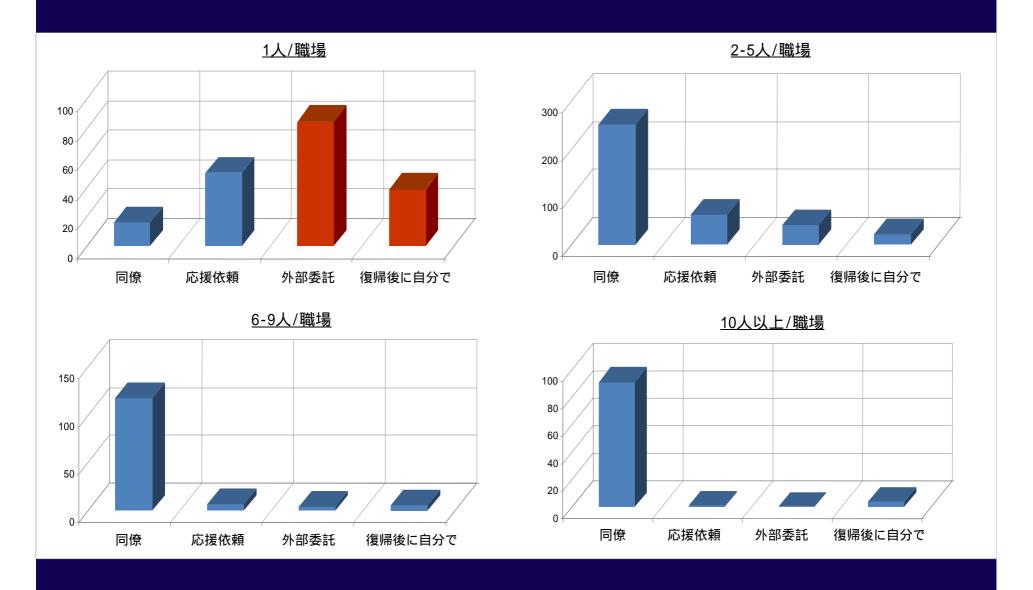
Q 12. 一人病理医の負担軽減の方法



Q 22. 学会や病気などで短期間休まねばならない場合の対処法

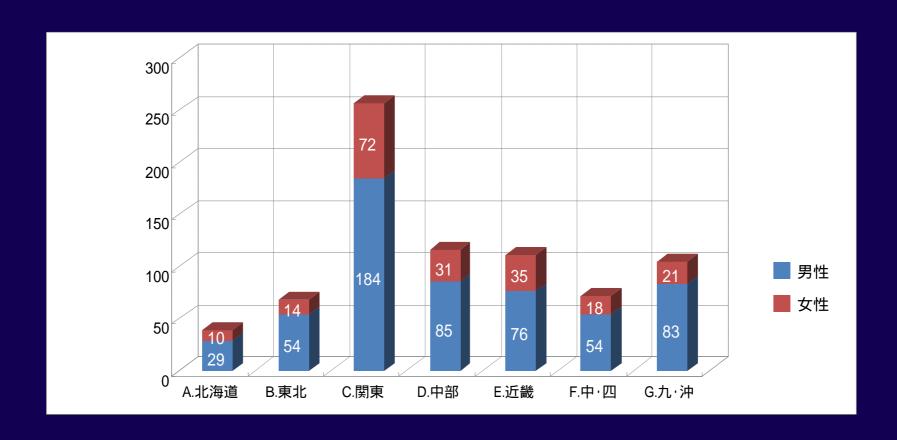


Q 23. 病気などで長期間休まねばならない場合の対処法



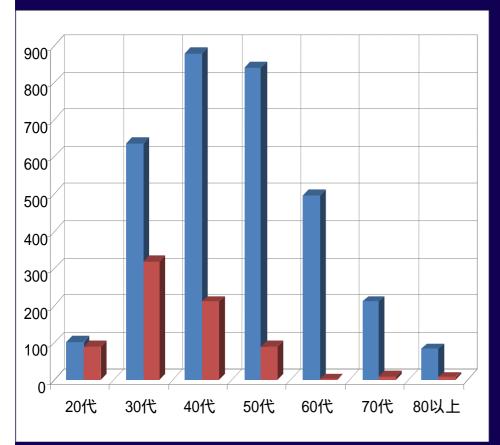
女性病理医

Q 2. 性別 (支部別分布)

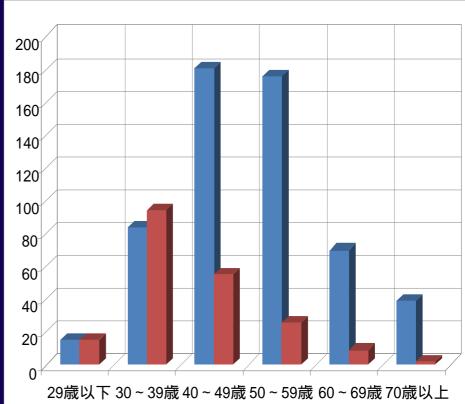


Q3. 各年代の性別 (学会全体との比較)

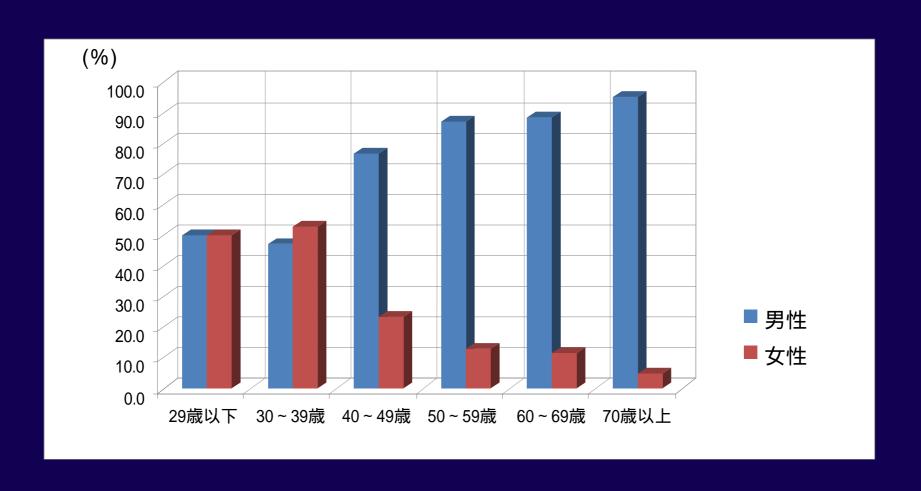
日本病理学会全体



アンケート回答者



Q3. 各年代の性別 (%)

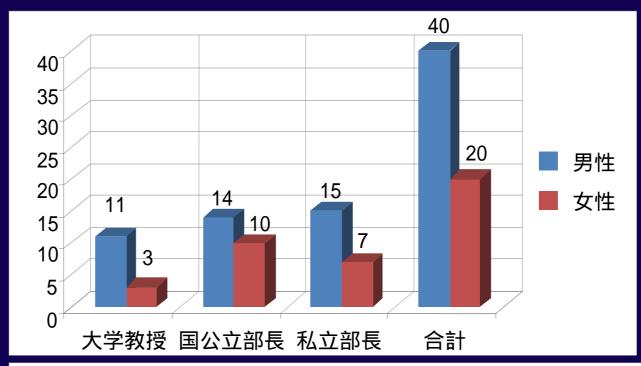


Q 4. 病理専門医について

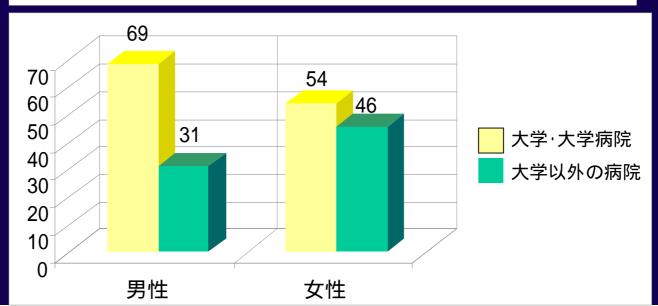
	合計	男性	女性	無回答
A.病理専門医である	631	484	138	9
B.取得準備中	96	45	50	1
C.予定なし	45	33	11	1
無回答	8	4	2	2
合計	780	566	201	13

Q 5. 勤務状況

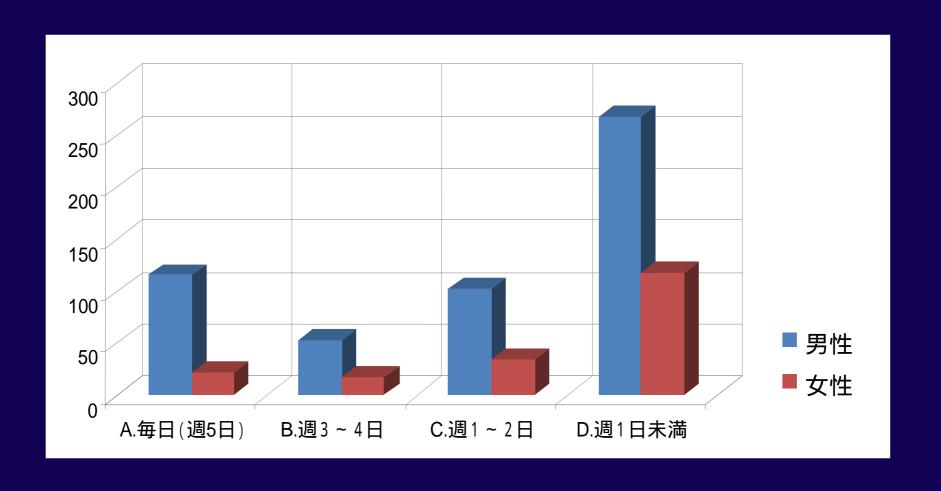
教授·部長の割合 (40歳以上)



39歳以下男女別 所属施設 (%)



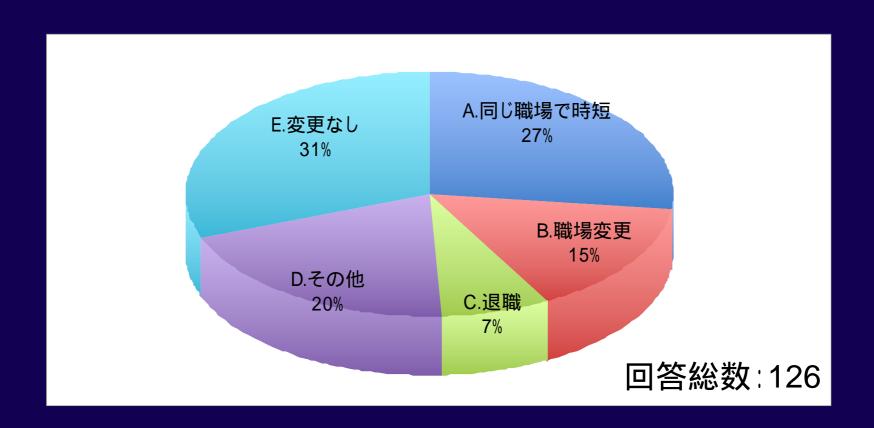
Q 9. 病理学研究にはどの〈らい関わっていますか



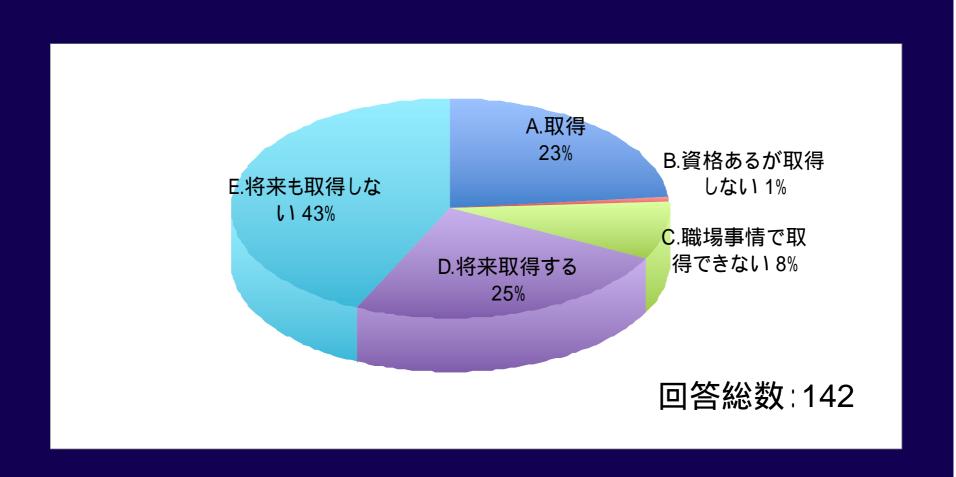
Q 13. 病理診断の専門分野について

	合計	男性	女性
 A.循環器	35	31	4
B.呼吸器	96	73	23
C.乳腺	106	64	42
D.皮膚	37	25	12
E.女性生殖器	58	40	18
F.泌尿器等	46	35	11
G.頭頸部	31	26	5
H.内分泌	16	13	3
l.消化管	106	87	19
J.骨	11	10	1
K.軟部組織	9	6	3
L.神経系	26	23	3
M.血液	32	26	6
N.肝胆膵	16	15	1
O.小児	4	1	3
P.感染症	9	7	2
Q.腫瘍	23	16	7
R.炎症性疾患	7	5	2
S.その他	6	5	1
T.特になし	115	80	35
回答者数	725	540	185

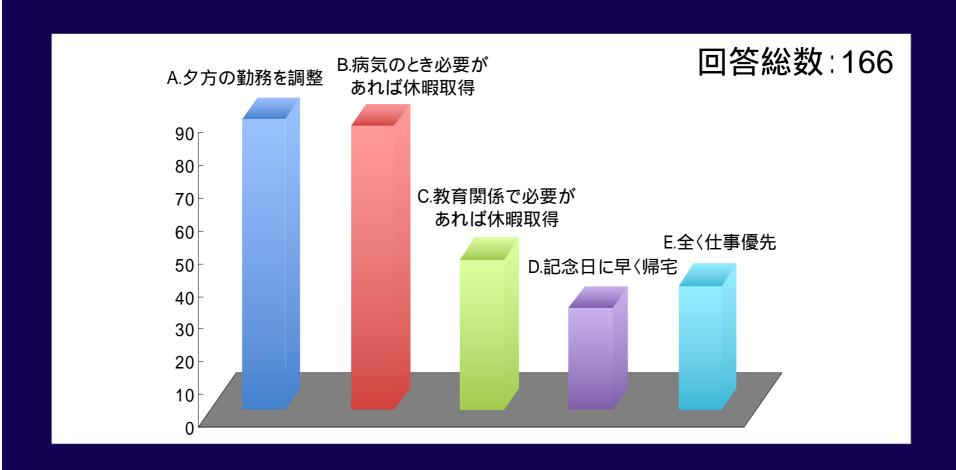
Q 31. 妊娠・出産を契機とした勤務体制や業務内容の変更



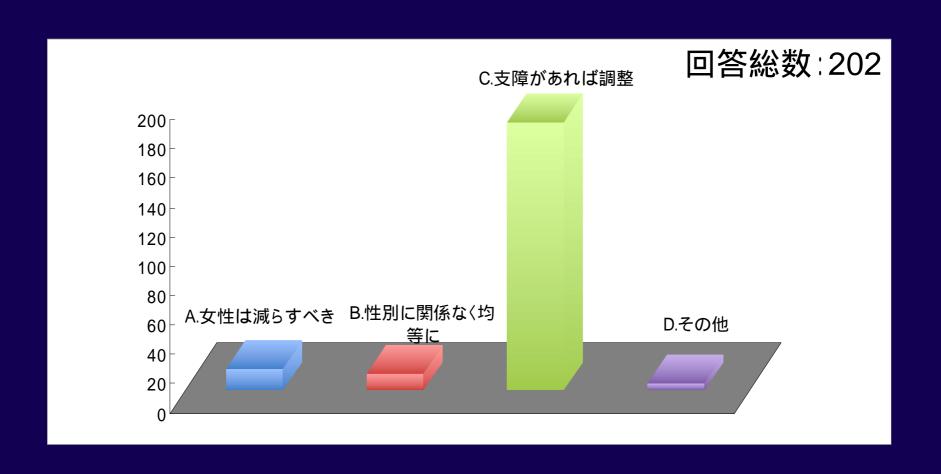
Q 35. 育児休業取得に関して



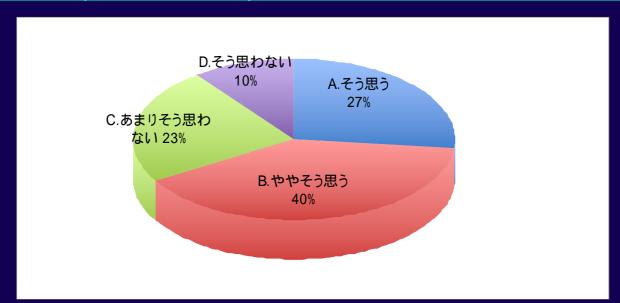
Q 37. 家族とのかかわり方



Q 38. 勤務場所における仕事量に関して

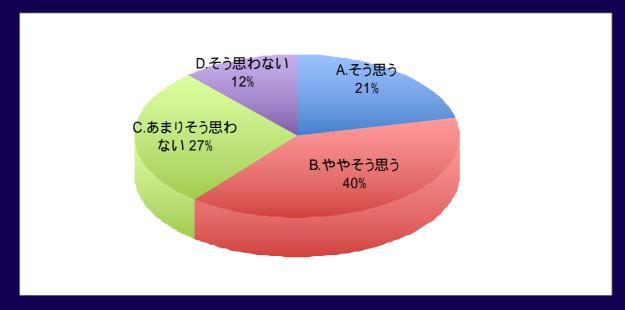


Q 41. 職場(病理部など)は、仕事と子育ての両立に理解がある



回答総数: 196

Q 42. 職場は妊娠、出産、育児のための有給休暇に理解がある



回答総数:

192